

---

# スマブラ合宿所！

天下

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマブラ合宿所！

### 【Nコード】

N8714X

### 【作者名】

天下

### 【あらすじ】

スマブラメンバーが共同生活！？みんな楽しく暮らしている様子を小説にしました。たまにイベントをやったりします！良かったら読んでみて下さい！

**作品介绍（前書き）**

小説初挑戦です！

## 作品介绍

作者「皆さんはじめまして！作者の天下です。初めて小説を書きます。」

マリオ「みんなよろしく！っなんで俺がいるんだ？」

作者「これからスマブラメンバーでテキストに暮らしてもらいたいのです。それで代表でこの作品介绍に来てもらったのです。」

マリオ「テキストって、自由に暮らしていいのか？」

作者「うん、いいよ。」

マリオ「たまにイベントとかやったら楽しそうだな！」

作者「あ、そういうことはマスターハンドに言ってね。作者は作品中には出ないから。」

マリオ「そうなのか。じゃあ早速帰って準備してくるぜ！」  
「ビュンッ！！！！」

作者「というわけで始まります！皆さん良かったら読んでくださいね！！！！」

## 作品介绍（後書き）

皆さんが読んで笑ってくれるような小説にしたいと思います！よろしくお願いします！

**全員集合！（前書き）**

小説書くの楽しー！！

## 全員集合！

家に着いたマリオは早速準備していた。

マリオ「せっせ、せっせ．．．」

ルイージ「兄さん、さっきからせっせと何してるの？」

マリオ「お前には関係ないぞ。スマブラメンバーで今日から合宿が行われるんだ」

ルイージ「ええ！？なんで僕抜けてるのさ！それは兄さんの願望でしょ！僕もいくよ！」

マリオ「チツ．．．」 ルイージ「舌打ち！？」

マリオ「まあいい、ほら、お前も早く準備しろ。」

ルイージ「うん！」

（10分後）

ルイージ「準備OK！」

マリオ「よし、じゃあワープ土管でいこう！」

そしてマリオたちは合宿所についた。

マリオ「着いたぞ！」

ルイージ「ワープ土管は早いね。」

マリオ「それにしても空気がおいしいな。」

ルイージ「どうやらここは森に囲まれてるみたいだね．．．って兄さん？あれ？どこにいるの？」

マリオは合宿所となるホテルの入り口にいた。 ルイージ「いつの間にな！？」

マリオ「何しゃべってんだ？はやくいくぞ。」 ルイージ「兄さん！？話題をふつたのは兄さんなのに！ちよつとまってよ！」

2人そろってホテルに入ったらそこにはマスターハンド（以下マスター）がいた。

マスター「お！やっと来たかマリオ！」 類似「僕もいるからね！」  
マリオ「ん？マスター、やっと？」  
マスター「もうみんな揃ってるぞ。」  
マリオ ルイージ「へ??？」  
そう、マリオが家に着く前にマスターは電話で合宿のことをみんなに伝えていたのだ。  
カービー「マリオ！久しぶり！」  
フォックス「お、マリオ、遅かったじゃないか。」  
リンク「さあ、お二人もこちらに来てください。」  
ホテルのロビーらしきところでは、スマブラメンバーたちがそれぞれ好き勝手に遊んでいた。  
マスター「さあ、これでみんなそろったな！みんな、ちょっとここに集まってくれ！」  
ガヤガヤ・・・みんな話をやめ、マスターの周りに集まった。そして、マスターの説明が始まった。  
マスター「さて、みんなここに来た理由は分かるな？」  
ゼルダ「合宿、ですよね？」  
マスター「そうだ、合宿といってもみんな自由だからな。ちなみにこのホテルはかなり広いから遊ぶところもあるぞ。今いるここはロビーだ。飯のときや何かあるときはここに集まってもらうことになる。それは覚えておいてくれ。あと、マリオとルイージ以外のみんなは自分の部屋に行ったな？荷物もそこに置いてくれ。また、他の人の部屋に行くのは自由だ。さて、もう説明することはないな。質問は無いか？」  
ファルコン「何でまた合宿なんてやったんだ？」  
作者「おもしろそうだから^ ^」  
ファルコン「それだけかよ!? てか今作者いたよな!? 顔文字つけるな！気持ち悪んだよ」  
マスター「うるさいファルコンはほっといて、ほかに質問はないか？」  
ファルコンが1人「おい！」とうるさいが、だれも質問は無さそう



マスター「じゃ、みんな自由に行動してくれ。」

サムス「ねえ、マスター、明日はなるべくここにいるようにしようよ。みんなの距離が縮まりそうだし。」

スネーク「また面倒くさいことを・・・」

サムス「だまれヒゲ!!!」

スネーク「ヒゲ!?!?」

スネークはシヨックでダンボールに隠れてしまった(笑) スネ

ーク(笑)・・・じゃねえよ!!!」

マスター「そうだな、ここにテレビを持ってきてゲーム大会でもするか!」

全員「やったー!!!」

マスター「じゃ明日は朝食もふまえ、起きたらここにきてくれ。いいな?」

全員「OK!」

というわけで次回は『スマブラメンバーゲーム大会!!!』をやります!はたして、優勝は誰の手に!?

## 全員集合！（後書き）

どうも、作者です。この後書きではこのトークの部屋にだれかに来てもらいます！今回は・・・カービィ「みんな！よろしくね！」

マリオ「また俺か・・・」

ルイーダ「もう、つかれたよ・・・」

作者「というわけで、作者がスマブラで一番使う、そして一番好きなキャラ、カービィとキャラが立ってるマリオと緑の大人気！みんなのヒーロー！ルイーダにきても」ルイーダ「ちよつと！逆にそういうのやめてよ！」

作者「ええ・・・だってスルーしたら後からウジウジうるさいもん・・・」

マリオ「お前、引きずるんタイプだもんな。」

カービィ「そういうタイプって嫌われるよ？」

ルイーダ「しってるよ・・・」

作者「話に入るけど、小説かくの楽しいよこれ！」

カービィ「でも、3DSから投稿してるんでしょ？」

作者「そうなんだよね。家族がパソコン使うから作者はあまり使えなくて3DSから投稿してるんだけど、疲れるんだよね・・・」

マリオ「てか、よくやるうと思っただな。才能も無いのに。」

作者「うう！（傷）（涙）」

ルイーダ（復活）「いや、ふつうにしゃべってよ！」

作者「ごめんごめん、マリオの質問だけど、作者は帰宅部でなんにもやっていなくて、土日は定年退職したおじさんのごとく、ひまをもて余してるんだよね。だから何かやるうかな、と思ってたらこのサイトをみつけたんだよね。」

カービィ「ま、何もしないよりは増しだね。てか今回マスター話しすぎじゃない？」

マリオ「それはいえてるな。スマブラメンバー、ほとんど話してな

いし。」

ルイージ「あと、僕の名前がたまに類似になってるんだけど・・・」  
作者「ああ、それは意図的だよ。」 ルイージ「意図的!? ええ・・・」

作者「あと、マスター話しすぎ事件は謝ります。まあ、第1作目だし? しょうがないっていうか? うん?」

カービィ「後半あげ調子話すの止めてよ! あと勝手に事件にしないで!」

作者「まあまあ、そろそろ終わりにしないと。」

マリオ「次回はゲーム大会だな。何のゲームやるんだ?」

作者「もちろんスマブラだね!」

ルイージ「僕は1勝できればいいや・・・」

3人「目標低! ! !」

ルイージ「えっ? そ、そう?じゃ優勝するぞ!」

マリオ「類似だけには負けないぞ!」

カービィ「類似だけにはかつぞ!」

ルイージ「そうくると思ったよ・・・でも名前はちゃんとやって!」

作者「さて! 類似は優勝できるのか(無理)(笑)楽しみにしてください!」

ルイージ「僕、今の一文で優勝無理だってわかつちやったよ・・・」

スマブラメンバーゲーム大会!!! (前書き)

始まるよ!

## スマブラメンバーゲーム大会!!!

朝9時、朝食をおえたメンバー達がロビーへ集まっていた。

ピカチュウ「いよいよだね・・・」

リユカ「類似さんより上にいけたらいいな・・・」

ピット「まあ、類似くんには負けないよ普通。」

マルス「ははは 類似くんには負けるなんて有り得ないよ」

緑「作者や・・・前の後書きでお願いしたのに、もう3回も使われ

ちゃってるよ・・・なんか、新しい呼び名が増えてるし・・・」

ルイージが心底落ち込んだときに、マスターがやってきた。

マスター「よう、待たせたな。早速開催するぞ!」

ドンキー「スマブラメンバー!!!」

ガノン「・・・ゲーム大会・・・」

カービィ「開催です\*!!!」

全員「わあぁー!!!」

ガノン「このくだりいるのか!？」

マスター「でも、盛り上がっただろう。よし、それじゃ開催されたことだし、奥に見えるステージをみんな見てきてくれ。」

全員がぞろぞろとステージに移動し、ステージを見るとそこにはスマブラXのキャラ選択画面が映った大型TVと何かの表があった。フォックス「マスター、この表は何だ？」

マスター「それは対戦表だ。4人ずつ対戦していき、優勝者が決まるようになってる。」

### 対戦表

A・マリオ スネーク ファルコン ワリオ

B ピカチュウ ガノン ネス カービィ  
C レッド(ポケモントレーナー) アイク ピット リンク  
D サムス ゼルダ ピーチ ポポ  
E ファルコ フォックス ウルフ ナナ  
F ロボット メタナイト ルイーダ ウォッチ  
G トウリンク シーク マルス リュカ  
ピーチ「ゼルダと一緒に? . . . 絶対負けないわ!」  
ゼルダ「私こそ負けませんわ!」

対戦は非常に盛り上がったのですが、完敗した者たちが可哀想なので省略致します。なので、勝ったキャラだけ紹介します。

勝ったキャラ

- A マリオ 「まあ、余裕だな。」
- B ネス 「ガノンだけ狙い続けてたら勝っちゃった!」
- C アイク 「何もしないで端にいたらかってたぞ。」
- D ポポ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8714x/>

---

スマブラ合宿所！

2011年11月16日22時29分発行